

第2回府中町総合計画審議会 議事録

日時 令和7年6月30日(月) 午前10時30分から

場所 安芸府中生涯学習センター くすのきプラザ

1階ギャラリー

§ 出席者

・出席委員（14名）

大東会長 佐名田副会長 石田委員 岩崎委員 植月委員 小早川委員 穴戸委員
篠永委員 新谷委員 竹中委員 田村委員 門前委員 山本委員 米田委員

・欠席委員（0名）

・町出席者

寺尾町長 桑原副町長 新田教育長 総務企画部長 財務部長 福祉保健部長
町民生活部長 建設部長 区画整理担当部長 消防長 教育部長 危機管理監

・事務局

政策企画課職員 総合計画策定業務受託事業者

§ 議題

(1)府中町第5次総合計画基本構想原案について

§ 議事の内容(要旨)

1 開会、定足数の確認

<定足数の確認>

寺尾町長

委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中ご参加いただきお礼申し上げます。梅雨が明け、暑い日々が続いているが、体調管理に気を付けながらこの夏を過ごしていただければと思う。

事務局から紹介があったように、人事異動があり一部体制の変更があった。この体制で第5次総合計画の策定を進めていきたい。よろしくお願いします。

また、水分峡森林公園での思いもよらない事件が発生し、ご不安とご心配をおかけした。児童生徒の見守りなど、たくさんの方にご協力をいただいたことにお礼申し上げます。容疑者の逮捕及び公園への防犯カメラの設置完了に伴い、公園の夜間利用についても今週末から再開する。夏には都市近郊で気軽に自然に触れ合え

る公園として、皆様に利用していただけるよう、PR 等、水分峡のイメージアップを図っていききたいと思う。

本日は、まちの将来像と今後 10 年間のまちづくりの方針を示す基本構想の原案を示す。こちらは前回の審議会で報告したアンケート調査の結果や、その後に町で整理した第4次総合計画の振り返りを踏まえて作成している。

限られた時間ではあるが、皆様それぞれの経験・知見を踏まえたご意見をいただきたい。

2 議題

(1)府中町第5次総合計画基本構想原案について

<資料1(第1、2編)について事務局から説明>

大東会長

ただいまの説明についてご質問やご意見等はあるか。

門前委員

都市基盤・住環境の課題で、広島市東部地区連続立体交差事業について書いてあるが、最近、令和 12 年から令和 15 年に完成が伸びたという書類をいただいた。大分遅れることとなるが、どうか。

区画整理担当部長

広島市東部地区連続立体交差事業の今後の見通しについて、広島県が公表した内容では、ご指摘のとおり、昨今の物価高騰や働き方改革の中で、第 1 期工事区間、府中町域約2km を含む区間について、3年の事業期間の延伸をこれから国と協議する旨聞いている。

府中町では、この事業に関連性の高い区画整理事業を推進しているところである。今後、7 月には区画審議会を開催し、連続立体交差事業が延伸する見込みである中でも、事業期間の延伸による影響が最小限となるよう、権利者、広島市、広島県、鉄道事業者と協議しながら着実に事業を進めていきたいと考えている。

岩崎委員

学び合い、志を育むまちづくりの課題で、地域コミュニティのところに持続可能な学校支援体制を構築する必要があるとされている。こちらについて、部活動の地域移行、地域展開については、国が推進することとしている。質の高い生活が行えるよう、生涯学習分野の底上げとともに、学校における部活動の地域移行や公民館

活動など、是非、府中町におけるスポーツの体制について底上げをお願いしたい。

教育部長

確かに国から部活動の地域移行の話が出ており、令和3年度から順次取り組んでいるところである。教育委員会では、第5次総合計画と同じように、教育委員会の指針となる教育振興計画を令和8年度に向けて作っていく。地域移行については、計画に明記する予定としている。計画が完成した際には、ホームページ等を通じて皆様に改めてお知らせする。

米田委員

揚倉山健康運動公園をよく利用するが、安芸府中高校の交差点から公園の下段運動場までの間に、歩道や自転車レーンがなく非常に危険である。10年先を見据えて、中高生が安全に利用できるよう整備をお願いしたい。

また、下段グラウンドを人工芝にする予定があると聞いているが、人工芝だけでなく、避難所、避難場所、スポーツ合宿所を作るなど、10年先を見据えて多目的に利用できるよう総合的な整備がされると良いと考える。

建設部長

道路については、県道であり、安全対策について県と協議したいと考える。

総合的な整備については、照明施設等の関係で官民連携によるノウハウを取り入れて、何かできないかということで、民間事業者の意見聴取など情報収集をしているところである。

また防災については、揚倉山健康運動公園だけでなく、町の公園全体について防災上の位置付けを考えていきたい。

田村委員

水分峡の件だけでなく、町内に死角を作らない取り組みが大事である。防犯カメラはもちろん、地域コミュニティにも力をいれていく必要があるのではないかな。また、空き家が全国的に増えている中で、府中町の状況が気になるところである。

犯罪抑止のため、公園を含め、色々な場所において死角を作らないこと、横の連携により、無理のない範囲でパトロールなどをやっていくことなどが必要だと考えている。

町内会は加入率を上げるよう、様々な取り組みをされているが、現状、生活する上で困りごとが特に無いので加入しないという人や、役員となると負担が大きいことを理由に町内会をやめる人などがいると聞いている。小中高校生たちと連携し、子どものうちから町内会の問題や在り方について考えることや、子どもたちと一緒に

に何かを取り組むことなども考えていく必要があると考えている。

歩道のがたつきや段差について、先日足をくじいたことで普段何気なく歩く道に恐怖を感じた。年配の方やベビーカーを押される方にとっては、そういった段差やがたつきが特に気になると思うので、解消を進めていく必要があると思う。

町民生活部長

水分峡の事件は思いもよらない凶悪事件ということで、皆さんも不安に思われたかと思うが、地域のご協力もあり、なんとか犯人逮捕となったと聞いている。町内に防犯カメラは、現在 14 か所 28 基設置しており、今年度1か所2期増設する予定である。まだまだ防犯対策が必要であるという声も聞いており、なんらかの手立てを考えていきたい。防犯カメラについては、設置台数を増やして監視すればいいというわけではなく、住民のプライバシーも考慮する必要がある、バランスを取りながら進めていく。

水分峡森林公園については、せっかくの広島市内から近いキャンプ場であることから、活用していきたいと考えている。

町内会は皆さん工夫して頑張っておられるが、ご指摘のとおり、入らなくてもよいと考える人も増えている。そうすると委員の負担感も増えるという悪循環が生まれている。町としても対応も考えていきたいが、世の中の流れもあり、今までの在り方では難しいと思う。子どものうちから町内会について考えていくということも良いアイデアと思う。町としては良いアイデアを皆さんからもらいながら、支援していきたいと考えている。

建設部長

空き家については、2018 年の統計調査では町内で 2,300 戸程度。県内では少ない方だが、今後人口減少も見据えて対策に取り組んでいきたい。

歩道のがたつきについても、町内では県道と町道があり、修繕は順次実施しているところだが、点字ブロックの老朽化なども進んでいることから、今後もしっかり取り組んでいきたい。

山本委員

府中町のボランティア協会に所属しているが、若い人たちのボランティアへの参加が年々減ってきている。さらにこれまでの担い手も高齢化し、ボランティアの人口自体が減ってきている。ボランティアをはじめとした地域のコミュニティでのいろいろなつながりが求められていると思うが、これはつばきバス等交通機関の問題もリンクしていると思う。ボランティア活動の担い手が、高齢化により免許返納した場合、活動しようにも移動が難しくなるということもある。

例えば公共施設への交通手段の確保などについての考えはあるか。

建設部長

公共交通の充実は重要であると考えているが、路線バスやタクシーなど、府中町は比較的公共交通の利便性が高い町でもある。つばきバスや、うぐいす号などについても、民間と一部重複して運行しているが、これを更に密にしまうと民間圧迫となり、かえって公共交通サービスの減退となる可能性もある。そのことから、バランスを重視して考えていく必要がある。町としては、町民代表や民間事業者が参画する公共交通協議会で話し合いながら住みやすいまちについて考えていきたい。

岩崎委員

都市基盤・住環境の課題について、普段、空城山公園をよく利用しているが、新しい遊具が設置され、皆さんが大変喜ばれている様子を見る。一方で、公園の使用ルールやマナーが各自の判断基準になっているように感じる。せっかく整備しているので、長く活用していくためにも、管理運営体制を強化していただきたい。

建設部長

空城山公園については、令和元年と6年度に遊具更新を行っている。これは、元々斜面に設置していたアスレチック遊具の老朽化に伴い、その機能を複合化した遊具を平地に設置するとともに、乳幼児向けのゾーンを新たに設けたもの。利用マナーについては、来園者へ周知できるように取り組んでいきたい。また、公園施設の維持管理についてもしっかりと行っていく。

新谷委員

部活動を外部に出すという話があったが、今後10年間を考える際、これまでは町内会やPTAなど、ボランティアや一定の担い手で成り立ってきたものが多いように感じる。これが10年経つと、先ほどあった、時代的に町内会の運営が難しくなっているといった問題がどんどん顕在化してくると思う。

なり手不足により、次の世代では運営が難しくなっていくような問題に関して、部活動を地域に移行していくことであったり、例えばPTAをNPO法人化するなどといった事例もあると聞く。コミュニティの運営など、今は予算化されていないようなものを予算化していこうという考えなどはあるか。

教育部長

ご指摘のとおり、事業を進めるには予算がなければできないということはある。

町では、この総合計画の策定と同時に、5年間の実施計画として、予算を見据えた事業計画も作成しているところである。部活動の地域移行については、教育委員会として、各年度に何をやっていくのかを検討し、それに応じた予算を、財政当局へ要求していく。

<資料1(第3編)について事務局より説明>

大東会長

ただいまの説明についてご質問やご意見等はあるか。

門前委員

基本目標2について、第2項に歴史・文化・芸術・スポーツ等にいつでも身近に触れ、といった記載があるが、スポーツについては現状、場所の取り合いになっている。また、芸術にいつでも身近に触れるというのは難しいのではないかと考える。どのように進める考えか。

教育部長

文化芸術をどう活性化していくか、どう身近に触れられるようにするかについては、ご指摘のとおり非常に難しいと考えている。そのため、あえて基本目標の説明に記載することで、文化・芸術について、どう取り組むかをしっかりと検討し、10年後に答えが出せるよう、計画の中に入れていきたいと考える。スポーツについては、現在、スポーツ推進計画の策定中であり、来年度以降どのようにしていくか検討しているところ。

竹中委員

昨今の犯罪が若年層に移ってきており、危惧している。府中町としても決して他人事ではないと考える。家庭や教育の中でこころの健康をどのような環境で作っていくのか。

先日、町民ゴルフ大会を開催し、そこで6名の若者にあいさつをしてもらった。その中で、府中町に住んでいることに誇りを持っている、住んでよかった、もっと良い府中町にしていきたいという話をしてくれた。若い人がこんな考え方をもって住んでくれているということがうれしかった。また、行政と事業者、学生たちが一体となって府中町をもっと素晴らしい町にしていきたい、という意見を言ってくれた。府中町は無限の可能性を秘めており、人と人とのつながりが一番大事な点となってくるのではないかなと思う。人とのつながりについてどのようにお考えか。

町民生活部長

人のつながりということでは、基本目標3に書かせていただいている。町内会に関して、世の中の流れとして、活動などが難しくなっている。町内会を支えている人達の負担が大きくなり、それを見て新しく入る人も少なくなっている。

住民の声を聴きながら、行政がどういうことを行えば、町内会の動きがもう少し楽になるか、活性化につながるかについて考えていく。

町内会などを活性化することで、住民の基本的なつながりを担保できるのではないかと考えている。

寺尾町長

補足するが、基本目標3において、委員ご指摘の人と人とのつながり、住民同士のコミュニティについて位置づけ、しっかり取り組んでいく方針としている。具体的には、町民生活部長から説明のあった町内会の支援もあるが、コミュニティスクールなどによる学校と地域との関係、福祉でいえば社会福祉協議会、あとは公衛協など地域団体、あらゆるところでコミュニケーションをつなげていく施策を展開していきたいと考えている。

例えば、ごみステーションのカラスの問題など、ごみステーションでの散乱防止の取り組みは、地域で知恵を出し合ってやっていく必要がある。地域のことを一番わかっているのは地域の方々であり、全て行政だけではできないこともあるので、行政としてはできるだけ話し合いができるようサポートしていきたいと考えている。

竹中委員

若年層、子どもたちに犯罪の手があらゆるところから忍び寄っている。子どもたちをどのように守っていくのか。

教育部長

子どもたちを犯罪から守るということは大変重要だと考えるが、先生だけでは指導にも限界がある。そこで、基本目標2において、コミュニティスクールと同時に地域学校協働活動という取り組みも考えている。これは、子どもたちと接しながら、地域の方に学校で活動をしていただくもので、これまでの見守り活動なども含め、地域の方々の力を借りながら子どもたちを守っていききたいと考えている。是非ご協力をお願いしたい。

田村委員

計画期間 10 年の中間、5年で見直しするとされているが、中間見直しの方法を教えてください。10 年というと、例えば 15 歳の子どもは 25 歳の社会人にな

っている。社会の移り変わりに柔軟に対応しつつ、住民一人ひとりに寄り添った政策、といっても一人ひとりの声も 10 年で色々変わると思うが、どのように進めていくのか。

事務局

今回、策定にあたって議論していただいているところだが、5 年経つと変わってくる部分もあるかと思う。そこで、中間見直しについても、住民アンケートなどを実施しながら、変化を見据えていく。その上で必要な変更があれば、見直しを含め、審議会や議会でご議論いただきながら改訂を行っていく方針である。

石田委員

文化について、この 10 年の計画を通して皆で共有できる環境を作っていくという話があったが、計画の策定にあたって、文化に直接かかわっている方がいらっしゃるのか。また、そういった方々の意見が現段階で出されているのか。

教育部長

この計画は、今回作って 10 年間そのままということではない。基本的なところをこの計画で作り、どうやって形にしていけるかは皆さんと一緒に考えていかなければならないと考えている。

特に文化については、職員のアイデアだけではどうしても限界があり、良いものができにくい。そのため、石田委員をはじめ、文化に関わっている方と意見を交わしながら、府中町の文化についてこれから考えていきたい。

この計画をスタート地点と捉え、皆さんの声を聴きながら、取り組んでいきたいと考えている。

植月委員

事務局から説明があったように、住み続けたいまちランキング1位を取っているなどなど素晴らしい。人口も令和 17 年に 51,500 人と高い目標を掲げられているが、日本の中でも評価の高い住みやすいまちであるだけに、もっと高い目標が設定できないか。

1 位でもやはり人口が減っていくのかという思いがある。各地方都市が抱えている課題について、府中町の取組を見ればまだまだ出来ることがある、といったリードをしていけるようになってほしいと考えている。

なぜ周辺市町ではなく府中町なのか、というところをシビックプライド等、府中町ならではの何かを発信していくことが大事である。現在でもいろいろなメディアや SNS などあるが、10 年後となると府中町に負けてしまっている自治体などは必死

になってそういった情報発信をしてくると思う。

今、お話のあったスポーツや文化、ヘリテージなど、住みやすさ以外のところも含め、府中町に住みたいと思えるような取り組みを全力で考え、発信していくことが大事だと考えている。

立地や行政サービスの良さもあるが、なりゆきだけになってしまうと、必死に取り組んでいる他の自治体に負けてしまう。シビックプライドが醸成されるような情報発信をして、この計画の中に、コミュニケーションのところも指標に入れていただければと思う。

寺尾町長

やはり、情報発信はしっかりとやっていきたい。現在、魅力発信としてアニメーションを作成したり、町内商業施設の映画館で上映前にPR動画を流してもらったりしている。そのため、若い人には情報が届いているのではないかと思うが、まだまだということで、広島都市圏の中でも府中町が注目され、住みやすいところであると発信できるよう、色々な仕掛けを考えていきたい。

大東会長

そのほかにご質問やご意見等はないか。

総括して私からも意見を述べさせていただく。

資料にあるように、年少人口、生産年齢人口が減り、老年人口が増えてくる。各委員からもご意見があったように、ボランティアなど、今、出来ていることができなくなる状況も考えられる。

人口の減少に関して、空き家の話が合った。これについては、特に空き家が増える地区などが出てくる可能性がある。そうなった場合、防犯の問題も関連してくる。

交通について、府中町の場合は平坦なところとそうでないところの差が極端である。平坦部分では例えば自転車のあり方。今、日本において自転車道は、非常にグレーな位置づけとなっていると認識しているが、暮らしやすいコンパクトなまちとして、自転車の使い方等を含め、歩きやすい、自転車が乗りやすいことも、高齢化に向けて考えていく必要がある。

3 次回の開催予定

事務局

次回開催予定は9月下旬を考えている。詳細は改めてご連絡する。

本日の会議の内容は会議録としてとりまとめ、後日委員にお届けする。また、会議録は公開情報として扱わせていただく。

4 閉会

桑原副町長

今回は基本構想の原案についてご審議いただいた。次回の審議会で基本構想案として提示できるよう、引き続き策定作業を進めていく。

また次回は、基本構想の6つの柱を基に、具体的な施策や取り組みを示す、基本計画の原案についてご報告させていただく予定。委員からいただいた具体的なご提案やご意見を踏まえて原案をお示ししていきたい。

委員の皆様には引き続き、町の取り組みについて今後とも忌憚のない、ご意見をいただきたい。